

意見書案第7号

マイナンバー保険証の義務化と保険証の廃止の撤回を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和6年9月20日提出

提 出 者

向日市議会議員 山 田 千枝子

賛 成 者

向日市議会議員 北 林 智 子

〃 杉 谷 伸 夫

〃 林 リ エ

マイナンバー保険証の義務化と保険証の廃止の撤回を求める意見書

政府は本年12月2日をもって、健康保険証を廃止することを決定した。これにより健康保険証の新規発行をやめ、本来取得が任意であるはずのマイナンバーカードと健康保険証が一体となった「マイナ保険証」への移行を強行しようとしている。

そもそも、法律ではマイナンバーカードの取得は任意とされている。一方、保険診療という生命・健康に関するサービスの利用を阻害しかねない保険証廃止の方針を打ち出すことは、マイナンバーカードの申請や管理が困難な方が社会保障からこぼれ落ちる可能性につながる。障がい者施設・介護施設等からは、個人情報の詰まったマイナンバーカードや暗証番号の管理は困難である事や情報漏洩が不安などの声もあり、現行の保険証を残してほしいという意見が多く出るなど、保険証廃止への不安や異論が未だ根強くある。

実施まであと3ヶ月を切ったが、社会情勢において未だマイナンバーへの視線は厳しくマイナ保険証導入へ機運は高まりを見せていない。国民の命を守るためにも健康保険証の廃止及びマイナ保険証の義務化を中止するべきである。

よって国におかれてはマイナ保険証の義務化と健康保険証を廃止する方針は撤回することを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月20日

京都府向日市議会